

九国プレ 2010

解答・解説

九州国際大学附属中学校

— 国 語 —

《解答》 (配点)

一 (問一、二、六はそれぞれ二点。他は四点。)

問一 ㉠ 観察 ㉡ 基準 ㉢ 要素 ㉣ 程度 ㉤ 想像

問二 A エ B ウ C ア

問三 本を読むこと

問四 字の分量だけで、絵本を選ぶ(というあやまち。)

問五 エ

問六 A 知識 B 再現 C 同化

問七 ウ

二 (問一はそれぞれ二点。他は四点。)

問一 ㉠ きょうみ ㉡ どうし ㉢ すなお ㉣ しんまい ㉤ せ(め)

問二 心理的なかげひき

問三 不安

問四 (例) まい(一人)を敵に決めること(「敵に決める」という表現は、「敵にする」や「いじめる」なども可。)

問五 (例) お父さんの大切にしている万年筆をこわしてしまつて、後ろめたく思う。

問六 ア

問七 (例) まいが、今の学校から新しい学校に転校することを選ぶということ。

問八 ウ

問九 おばあちゃんは深い

三 (すべて二点。)

問一 ① (例) 期 ② (例) 安 ③ (例) 門 ④ (例) 試

問二 ① 手 ② 足 ③ 顔

問三 ① 馬^ま ② 猫^{ねこ} ③ 鷹^{たか} (ひらがなも可)

《解説》

一

問一は、小学校六年間で習う漢字から出題しています。間違えたものは、しっかりと覚えましょう。

問二は、接続語の問題です。空らんの前後をしっかりと読みましょう。Aの前は、親が字の問題を大きく取り上げていること、後は、筆者が字だけで絵本を選ぶのに反対していることが読み取れます。よって、「しかし」が入ります。Bの場合は、前に、女の子がイチゴをさがしに行ったとあります。後は、イチゴを見つけた!とあります。その関係をつなぐには、順序通りの内容をつなぐ「そして」が最適です。Cの場合は、前が理由となつて、後がその結果として言えることが述べられているので、「ですから」が入ります。

問三は、少し離れているところに答えがあるので、迷ったかも知れません。実は、ぼう線①と②とが対応していることに気がつけば、「いまだにおおぜいの人(このあやまちを)くりかえしているのは」と受けられて、その理由が次から述べられています。理由が述べられる場合、「くから(ため、ので)」という表現になるので、「く混同されているから」に気がつけば、速く解けたかも知れません。

問四は、問三とも関連していますが、指示語の「このような」に着目すれば、前の段落の内容を受けていると気がつきます。では、筆者の考えている「あやまち」という言葉から内容を見ていけば、「字の分量だけで、絵本を選ぶというの」が間違っていることだと考えていることが分かります。

問五のような問題は、分かりやすい空らんから見れば、速く正確に解答できます。まず、Iが「母の病気に対する」とあるので、「心配」が入ります。すると、イかエにしばれて、IIIが「ひとりで森の中を歩く」ので、「不安」という言葉が入り、エが正解となります。

問六は、筆者の考える「本を読むこと」が、最後の一文にまとめられています。「本を読むためには、く」の一文に着目できれば、空らんの前の語句に注意すれば、順に解答できると思います。

問七は、「あてはまらないもの」という指示を見落とさないように注意してください。正解は問三、四と関連していますが、「ひとまねこぎる」や「スーホの白い馬」のような絵本を例として、文の量が多くても易しいものや少なくともむずかしい本があることを述べていますので、ウの「字の分量のみによつて、絵本のやさしさやむずかしさは決まる」というのが、あてはまりません。

二

問二は、「八字で」という条件があるので、「にっこりする」とか「相づちをうつ」とか「トイレについて行く」という行為をまとめて表現している「心理的なかけ引き」が答えとなります。

問三は、離れたところに答えがあるので、なかなか見つけにくかったと思います。しかし、問題文に「根本的な問題」とあるので、後半のおばあちゃんのセリフに着目できれば、「根本的な問題は、クラス全体の不安ですからね」や「クラスみんなが不安なんですよ」という言葉から、「不安」が導き出せます。

問四は、直後のまいのセリフである「みんなで、だれかを敵に決めればいいんだもの」に着目できれば、「解答用紙に合わせて」という指示があるので、「まい(一人)を敵に決めること」と答えてください。「敵に決める」という表現は、「敵にする」や「いじめる」など幅を持たせています。

問五の「後ろめたい」という言葉は、「自分が悪いことをしたと感じ、気がとがめる」という意味なので、解答には、何か悪いことをして、そのとき感じた思いとして作文しているものを正解とします。(例)「お父さんの大切にしている万年筆をこわしてしまって、後ろめたく思う。」

問六は、「クラスみんな」の方が悪いと考えられるのに、まいは「自分にも問題がある」と言い切っている様子を修飾する言葉を選びます。すると、「立場の弱い者が、懸命にがんばっているさま」を表す、「けなげに」という言葉が最適です。

問七は、たとえの表現が示している内容を考えて答える問題です。「シロクマ」「ハロイ」「北極」がそれぞれ示しているものを考えて解答を作ると、「まいが、今の学校から新しい学校に転校することを選ぶということ」となります。

問八は、おばあちゃんの表情である「目を丸くして」と「とぼけた顔」の心情をとらえる問題です。直前の「まいも負けていなかった」や「おばあちゃんの思う方向にうまく誘導されている」という表現から、自分の考えを見抜かれていることと、「ま」に暮らしている中で、まいが精神的に大きく成長していることに対して驚いているのが、「目を丸くして」。その驚きをまいに気づかれないようにしようとする思いが「とぼけた顔」。その両方を満たしている、ウが正解です。

問九は、場面転換をとらえる問題です。この問題の考え方は、「時・場所・人物」の転換です。場面は、上記三つの要素から成り立ちます。そこで、まいがクラスでいじめられている状況を語った後、「おばあちゃんは深いため息をつき、まいはしばらく黙りこんで気持ちを落ち着けた。」という一文に着目してください。

三

問一は、それぞれ思いつくものから考えていくという方法しかないと思いますが、小学校六年間で習う漢字から出題しています。①は「学期」「期限」「期待」から、「期」が解答です。同様に②は、「安心」「不安」「安全」より、「安」。③は、「門番」「専門」「入門」より、「門」。④は、「試食」「入試」「試合」より、「試」が解答です。④は、「会食」「入会」「会合」も考えられるので、「会」も正解です。

問二は、慣用句の問題です。問いのように慣用句には、体の一部を使った表現も多数ありますので、しっかり覚えましょう。順に、①が「手」、②が「足」、③が「顔」となります。

問三は、ことわざの問題です。問いのような動物や植物を用いた表現も多いので、注意してください。順に①は、「馬の耳に念仏」、②は、「猫に小判」、③は、「能ある鷹は爪を隠す」です。指示にあるように、それぞれひらがなでも正解です。

— 算 数 —

1 (計算問題) 4点×5=20点

整数、小数、分数の計算は何度も練習しましょう。小数点の位置や、分数の計算には特に注意しましょう。

(1) 66 (2) 43.2 (3) 10 (4) $\frac{3}{4}$ (5) 16.23

2 (量と測定) 4点×6=24点 ※(4)はおとなと子ども両解4点

単位換算をしてから計算します。また、角度や面積を求めるなど基本的な問題です。

(1) 80cmは0.8mだから、 $96 \div 0.8 = 120$ 120円

(2) 4kmは4000mだから、 $4000 \div 200 = 20$ 20分

(3) $200 \times 0.2 \times 0.7 = 28$ 28人

(4) $660 \div 3 = 220$ だから、
子ども1人の料金は220円、おとな1人の料金は440円

(5) $360^\circ - (75^\circ + 70^\circ + 90^\circ) = 125^\circ$ 125°

(6) $3 \times 4 \div 2 = 6$ 6cm²

3 (図形) 4点×5=20点

図形の面積、体積が求められるように。公式の確認をしましょう。展開図や見取り図の問題も要注意です。

(1) 立方体

(2) E

(3) $4 \times 6 = 24$ 24cm²

(4) $2 \times 2 \times 2 = 8$ 8cm³

(5) $(4 - 3.14) \times 6 = 5.16$ 5.16cm²

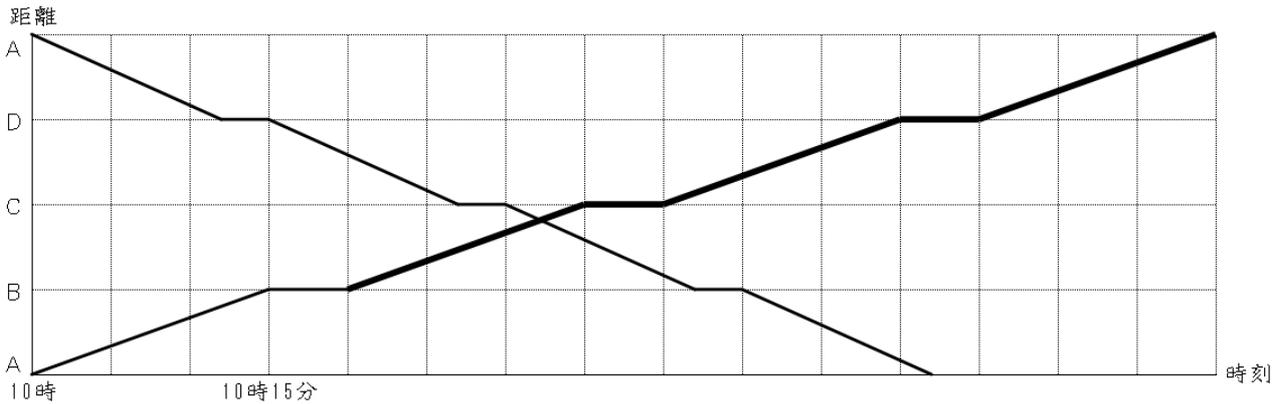
4 (数量関係) 4点×5=20点 ※(1)は、バスP、Qのどちらか正解で2点

グラフから数量関係を読み取ります。

(1) $10 \div \frac{1}{4} = 40$ だから、Pは時速40km、

$10 \div \frac{1}{5} = 50$ だから、Qは時速50km

(2)



(3) グラフより、BとCの間

(4) 10時36分では、バスPはバス停Cで停車していて、バスQはバス停Cから

$50 \times \frac{6}{60} = 5$ (km) 進んでいます。だから、バスPとバスQは5km 離れています。

(5) 10分で10km進めばよいので、 $10 \div \frac{1}{6} = 60$

だから時速60kmで進めばよいです。

5 (規則性) 4点×4=16点 ※(2)は白石・黒石両解4点、(3)は㉞～㉟全解4点
問題文から規則が読み取れるようにしましょう。規則性が見えない場合は、しばらく書いてみる作業も大切です。ただし、すべて数えてしまっただけでは算数ではありません。要領よく考える習慣を身につけましょう。

(1) 規則にしたがって書いてみると白石とわかります。

(2) Aくんの並びは4個ずつで同じことがくり返されています。この1回のくり返しの中には白石1個と黒石3個あります。

$80 \div 4 = 20$ なので、このくり返しは20回くり返されます。

したがって白石は $20 \times 1 = 20$ 個。黒石は $20 \times 3 = 60$ 個あります。

(3) ㉞ 3 ㉟ 3 ㊱ 6

(4) 6と4の最小公倍数は12です。12番目までに石の色が異なるところは5か所あります。

$500 \div 12 = 41$ あまり8なので、500番目までには同じことが41回くり返され、残りの8番目までで4か所あります。

$41 \times 5 + 4 = 209$ なので、209か所あります。